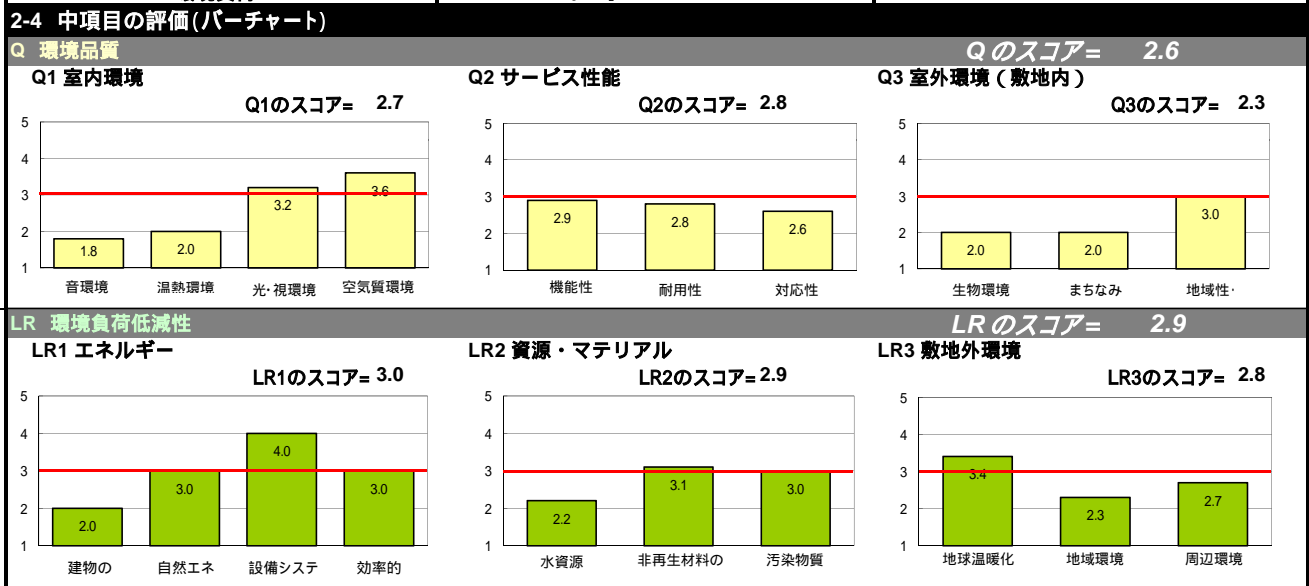
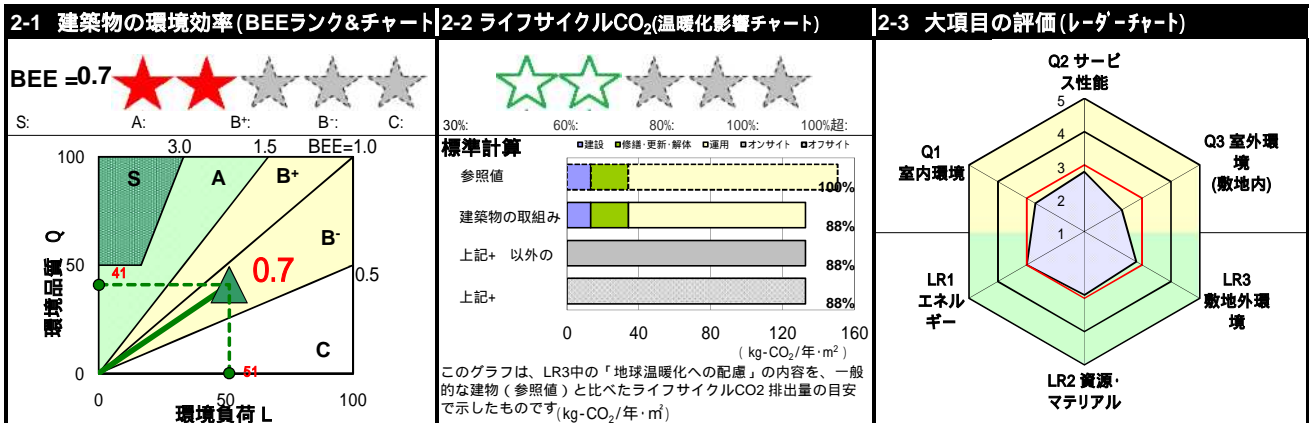


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)ホームステーションらいふ小田原東町 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 小田原市東町5丁目57-4外1筆 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 近商,工業,準防地域,第2.5種高度地区 | 平均居住人員 | 69人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年9月 予定 | 評価の実施日 | 2010年7月8日 |
| 敷地面積 | 1,418 m ² | 作成者 | (株)井上穠建築デザイン研究所 |
| 建築面積 | 749 m ² | 確認日 | 2010年7月10日 |
| 延床面積 | 2,490 m ² | 確認者 | (株)井上穠建築デザイン研究所 |

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 | その他 | |
| 敷地周囲への植栽や、緑地面積を市基準より多く確保することにより、周辺環境に配慮した。 | 特になし。 | |
| Q1 室内環境 建物全周にバルコニーの設置やカーテンの取り付けにより、日射の影響を減らした。 | Q2 サービス性能 外部にSUSダクトを使用するなど、配管耐用年数に配慮した。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲への植栽や、緑地面積を市基準より多く確保することにより、周辺環境に配慮した。 |
| LR1 エネルギー 一部にLEDを使用し高効率化に配慮した。 | LR2 資源・マテリアル 再生骨材を路盤材に使用し非再生性資源の使用量削減に配慮した。 | LR3 敷地外環境 敷地周囲への植栽や、緑地面積を市基準より多く確保することにより、周辺環境に配慮した。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される